

ただ 町政を質す!!

平成30年第5回町議会(定例会) 一般質問には、3人の議員が登壇し、多岐に渡り白熱した議論が展開されました。

一般 質問

ここが聞きたい!



稲場 仁子 議員

UIJターンによる企業・就業支援を

16



佐藤 昇 議員

高齢者や障がい者にやさしい町有施設の整備を

17



阿部 君枝 議員

ICTを活用した学習機会の充実を

18

一般質問とは?

一般質問は、町の行政全般(一般事務)に関し、執行者所見や疑義について質問できるものです。

質問する議員も、受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしています。

本町議会では質問と答弁がかみ合うように、全文通告制がとられています。

再質問からは、一問一答方式が採用されており、回数に制限なく質問時間を一議員30分以内としています。

一般質問

稲場 仁子 議員



町政を賃す!!

問 まち・ひと・しごと創生基本方針2018が去る6月15日に閣議決定されました。この基本方針は、東京一極集中を是正するため、平成31年度から6年間で地方の就業者や起業家を計30万人増やす数値目標を設定し、現行の5か年計画「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に続く平成32年度からの新たな5か年計画の策定に着手するとしたものです。

この基本方針の中でも、「わくわく地方生活実現政策パッケージ」の若者を中心としたUIJターン対策の抜本的強化などは、町としても今後取り組んでいかなければならないと考えております。UIJターンによる起業・就業（事業承継を含む）においては、単に起業にかかる費用を助成するに止まらず、住まいの確保や有利な資金融通、リカレント研修、雇用する企業への助成とかなり幅広い支援策を実施するとしています。

そこで、現在起業・就業という観点から町の施策を見ると、新規就農を別にして、地域おこし協力隊への助成と大型免許取得がありますが、さらに充実させる必要があるかと考えます。町としてこの事業にどう取り組むのか町長の考えをお伺いいたします。

地域おこし協力隊事業については、地域外の人材を積極的に受け入れ、その人材の定住・定着を図るとともに地域における活動によって地域の活性化や産業振興等を図ること目的として平成27年度から取り組んでおり、これら隊員への助成として、住宅家賃経費の助成をはじめ自己研さん経費及び地域おこし活動経費を助成してきています。

また、大型免許等資格取得支援事業については、同じく27年度から取り組んでおり、若年層を中心とした雇用を確保する施策として、29年度までの3年間で190件の助成を行っています。これらの事業については、まちづくりの重点戦略として事業の推進に取り組んでいます。今後は起業・就業支援という総合的な観点において事業効果を検証し、制度改正を含めた見直しを検討するなど事業の充実や発展に努めていきたいと考えています。

新しい制度の活用を

問

UIJターンによる起業・就業支援を

答

事業の充実発展に努めていく

再問 国の新たな制度である「わくわく地方生活実現政策パッケージ」を活用してUIJターンを希望する方々への環境整備をすべきではという観点で質問していますが、どう考えていますか。

総務部長 制度的に細かい内容が出た段階で、どういった形がいいのかも含めいろいろな方面から検討し、積極的に取り組んでいきます。

ただ 町政を質す!!

一般質問

佐藤 昇議員



問 高齢化率の上昇に伴い、歩行等に支障が出た
り、そのことが原因で転
倒事故の危険性も高まっ
たりなど、将来の健康に
不安を抱える高齢者が増
えています。
一方、国や地方公共団
体では、障がい者の法定
雇用率が平成30年度に2・
3%から2・5%に引き
上げられ、更に平成33年
度までには0・1%引き
上げる計画も示されてい
ます。
そうした社会環境の変
化の中で現在の町有施設
を見た場合、高齢者や障
がい者にとって利用しや
すい環境という点では改

善が必要と考えます。
1 高齢者や障がいを
持った方々(車いす等)
が利用しやすい環境づく
り、障がい者の雇用環境
整備なども念頭に入れ、
今後計画的にバリアーフ
リー化を推進していく考
えは。
2 その年、その地域に
よって温度差はあるもの
の、夏場における熱中症
予防、対策という観点か
ら、特に利用頻度の高い
役場関連などの施設に冷
房設備等の設置を図る考
えは。

町長
1 町有施設は、高齢者

答

問

高齢者や障がい者にやさしい
町有施設の整備を
利用状況等を見ながら必要に
応じて対応したい



や障がい者が多く利用す
るため、施設の利便性や
安全性の向上を図ること
が重要であることから、
新築、改築の際には「高
齢者、障害者等の移動等
の円滑化の促進に関わる
法律」(バリアフリー法)
等に基づきその対応を
とってきたところです。

一方、既存の老朽化し
た施設に対しバリアーフ
リー化を推進していくこ
とは、多大な費用がかか
るため、その施設の高齢
者・障がい者の利用状況
を鑑みながら必要に応じ
て階段に手すりを設置、
専用駐車スペースの確保、
出入口の改修などの対応
をとってきたところであ
り、今後においても同様
に対応していきたいと考
えています。
2 役場本庁舎、各総合
支所庁舎には冷房設備は
なく、げんき21には一部
冷房設備はありますが、
現在、これらの施設に多
大な費用をかけ冷房設備

再問
常に町民の多くが利用
する役場本庁舎はスロー
プもエレベーターもなく、
議会傍聴にも車いすの方
が来づらい状況。生田原
支所のトイレも和式しか
ないなどの問題もあり、
改善が必要では。
町長
役場本庁舎は、3階に
上がるのが大変な方など
は都度職員が対応するな
ど不便をかけないよう努
力していきますので理解願
います。

を設置する考えはありま
せん。
しかしながら、遠軽町
公共施設等総合管理計画
に基づいた施設の更新の
際などには設置を検討し
ていきたいと考えています。
熱中症予防、対策につ
いては扇風機などの冷房
機器を必要に応じて購入
し対応したいと考えてい
ます。

一般質問

阿部 君枝 議員



町政を賃す!!

問 北海道教育委員会は千歳科学技術大学と連携協定を締結し、本道教育の充実・発展に資するため、費用ゼロで場所を問わずに学びの機会を提供できる同大のeラーニングシステムの活用促進に取り組んでおります。同大のeラーニングにおいて、英検のCBTを作成し、筆記、リスニング問題が用意され、すべての問題に取り組む「知識習得学習」、回答率に応じて出題内容が変化する「復習モード」、テスト形式で問題に取り組む「模擬テスト」の3種類が用意されています。

答 北海道教育委員会の共催で実施するこのシステムの活用に関する講習会について、町内の各小中学校へ開催案内を通知



より多くの学べる機会を

問 小児がんの中に、網膜芽細胞腫という眼の病気があります。発症は5歳までに95%が診断されており、その多くは家族が子どもの眼の異常に気づき受診に至っています。

町長 平成25年度から道内で先駆けて、3歳児健診に「視能訓練士」による検査を実施しています。

再問 健診チェック欄に「網膜芽細胞腫予防の「白色瞳孔」を記載できませんか。

保健福祉課長 項目をいれるかどうかについては答えられませんが、健診については身体部位チェックで確認することになっています。

問	答
CTを活用した学習機会の充実を	情報を提供し学習機会の充実に努めたい

「白色瞳孔」や「斜視」の症状が現れるので、早期発見に向けた住民への啓発が重要と考えられます。そこで、小児がんの早期発見への取り組みを伺います。